

休暇村 鹿沢高原【標高1,400m】

お部屋からの眺望



四阿山 標高 2,354m

四阿山（あずまやさん）は長野県と群馬県の県境にまたがる山で、日本百名山の一つに数えられる。「吾妻山」「吾嬬山」（あづまやま）とも呼ばれ、嬬恋村では「吾妻山」が用いられている。この山の南西（長野県）側にはスポーツ等の合宿で有名な菅平高原が広がり、周辺にはスキー場がある。また、日本の滝百選の一つである米子大瀑布は、この山の北側にある。

横手山 標高 2,307m

上信越高原国立公園の一部である志賀高原を構成する山の一つであり、日本海と太平洋に水を分ける中央分水界上に位置する。

長野県側の志賀高原は観光地としての開発が進んでおり、群馬県側の草津温泉、万座温泉と国道292号で結ばれている。この国道は横手山の南に位置する渋峠で中央分水界を超えており、この地点が全国の国道の最高地点となっている。横手山は、スキー場、リフト設備などによる観光開発が進んでおり、夏冬を問わず、手軽に登れる山となっている。

●ご希望の方はフロントにてお渡しいたします。

もとしらねさん 白根山 標高 2,171m

白根山（もとしらねさん）は、群馬県吾妻郡草津町と嬬恋村にまたがる標高2,171mの火山である。草津町内にある白根山を含む「草津白根山」の主峰で、逢ノ峰を挟んだ南側に位置する。ハイキングコースが整備され、夏には多数の高山植物が見られるほか、コマクサの自生地があることでも知られる。

草津白根山 標高 2,160m

草津白根山は白根山が正式名称であるが、他の白根山と区別するため、草津を冠して呼ばれる。山頂付近には複数の火口湖が形成され、中でも湯釜（ゆがま）は、直径約300m、水深約30m、水温約18℃の火口湖で、世界でも有数の酸性度が高い湖と言われている。湖水は白濁した青緑色をしており、幻想的な霧廻気である。

嬬恋高原

嬬恋高原は高原野菜の適地で、主に夏から秋にかけて出荷されている嬬恋キャベツは特に有名。その時期、嬬恋村産のキャベツの売上は全国の総出荷量の半分を占め、名実ともに「日本一のキャベツ産地」となる。

気候は、高原地帯だけに夏でも涼しく年間の平均気温は8℃前後で、一日の温度差が大きいのが特徴。特に気温・湿度は避暑に最適であり、軽井沢にまさる避暑地である。

草津温泉

草津温泉は、日本三名泉に数えられ、江戸時代の温泉番付では当時の最高位である東大関に格付けされた日本を代表する名泉の一つである。温泉地中央には湯畠を中心とした風情のある温泉街が、それを取り巻くようにリゾート・ホテルやペンション、大滝の湯・西の河原公園および温泉センターなどの温泉関連施設のほか、草津音楽の森国際コンサートホールや草津熱帶園などの諸施設がある。

万座温泉

万座温泉は、上信越高原国立公園内、標高1,800mに位置する温泉である。年間を通じて自家用車で行ける日本最高所の温泉で、近くには湯釜・洞釜・水釜の3つの爆裂火口湖がある。

中心部のはずれにある「空吹き」と呼ばれる硫化水素煙の噴出口は万座温泉の名物となっている。なだらかな山の斜面に十数軒の旅館、ホテルが点在し、後背には万座温泉スキー場がある。

※この地図の作成に当たっては、カシミール3D (<http://www.kashmir3d.com/>) を使用した。

※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）及び数値地図50mメッシュ（標高）を使用した。（承認番号 平25情使、第587号）